若宮花守物語

全

特別
イ4
696
32

696
32

小倉藩
玉井文庫

若宮花守物語

序

抑名護屋の城とは、昔織田信長の時分、此城を築き、其後豊臣中納言家康公中興なり。今已に七拾余年誠近き頃、豊臣十字衛道海、神社佛閣數千軒、悉く焼亡す。其中に若宮八幡牛頭天王、御城下高麗の氏神なり。

若宮文庫

別當桃井長門とは、洛陽上御霊の神主の末葉也
勅勅の者なれば、神の道を知るの沙汰世よりとくとくし
若宮の神職と勅なる故に花守と云神子有其形
ぶり容儀誠に是神もの移りのごとく
世の人常に云ふ花守毎年正廿九月に此宮
来り湯を振舞る正月の事なれば桃井鍬を
来る年始の祝儀と称しられば桃井対面
しつつ花守らくいかく来るものよるるに石無
いかにしてこの酒を酒なりしられば花守なれば
酔狂しつつ顔色の利口なるは如何長門
浮世の移り替りつつ女末世の人の心に諸
長物語なれば料紙を出し我事に書留よ
中なれば桃井なる其侘に硯料紙
いかし神勅を思ひ時書留之時花守
月と共に中なれば若宮屋敷昌の
先若当若寛仁大度の事なれば

[illegible]国中の騒ぎ[illegible]及[illegible]迄の[illegible]
[illegible]諸職人諸商人[illegible]二代
[illegible]大川[illegible]
橋[illegible]渡し国主[illegible]
[illegible]人[illegible]中[illegible]
[illegible]
[illegible]二方
[illegible]

若宮記寺物語上

一 源頼朝公三代[illegible]
[illegible]大行[illegible]
[illegible]
[illegible]

何ぞも有り加賀と呉又家格高く小侯と称する家柱に而くと云ふ中く知恵の浅深の
相別る事なれハ何程なる者の出損ニ成り其の所の浅深
事と書き申ハ其国の法に朝鮮人の逗留有り之を相ハ
竹腰能州是も有らハ朝鮮人の逗留一年人が
中西真田竹腰三老と云ふ中ニ家中
ニ成り申さるる誰ぞ方彼ぞ方ニ今日ハ側役を勤る日ハ
外ニ無口なる者ニ成り家中の者
同ぜざる者ハ廿年程の内ニ家中の者
借金増ニ成り是皆三老の所為ニ成る者ハ行末

一

難儀ニ成るハ行末の用ゆる方ニ成り借金の場ハ
三倍と云悪人ニ成り相対方ニ合力ある由ニ成る者ハ
誠ニ今ニ成り悪ニ成る者ハ
一渡辺半蔵指南武道者の私も持ち石高ハ
知恵者ハ中く越前ニ成り友同名大隅守警学の
時ハ藩中風を作り君を侮る者ハ
百の名と知る者ハ人ニ成る屋敷を
百姓と成る者ハ金銀を
加る者ハ誰ぞ道ニ
知る者ハ人ニ成る者ハ
成る者ハ人ニ成る者ハ
侍の風上ニ成る者ハ

と書物を半蔵の事は西方と書記申す世の人代々
本願寺宗なりと云事なり書記なりしかるに西金をつき
ぶる方なれば金銀をたくはへ由と事なるべし半蔵の智恵
なりと事は同名新兵衛の悪事老耄と云ふ
何ともなれば云ふ所なり〇先新兵衛悪事は分一江坂
清兵衛を取立大代官まで陣屋詰なりしを西い
清兵衛を取立大代官まで陣屋詰なりしを西い
男なり先年普請方を勤めるの山島也組頭
年の後妻を入町と伝蔵まで遠国奉行
なり此れを四番行の支配役殿まで事新兵衛
清兵衛を取立て如申なる清兵衛を伝蔵させんと

四月五日の稲葉浦陸奥守様
加賀とて云ふ新兵衛君の出番を思ふ所は
濃尾市郎殿の金山へ行て利益を得ん
〇とも云ふ程の人なく〇志を得る
我も又実子を角倉へ出す
り是は弟の事を半蔵と云ふ
為に成て新兵衛君大切と思ふ
を申す勢殿の半十郎二男同金三男宰子一年の
うちに死し同名源兵衛三年夢の如くなりしも
先生方如く高和を
いるし新兵衛同果を

命あらんかぎりは新しき年に切成若しくは
身をわりて我こそは知恵の器なれと利口を切成者(者)小夜
のいづるを待ちて小夜を吾物とする小夜をとりて和とする者
一志摩国[illegible]の人なり又君の山猟の人なり又男女等
忠義(忠孝)なる者河獺(獺)より時に知恵も秀さるまじき
敬の解するを知ぬもの好ものなり秋桜の器あり
知行をあらそふ我と我と人を殺し自己を地獄に
人を殺し其身は好酒住者なり常に酒を好生
しかるに今長命なれば大酒あるべし死に果
殺さるべし此人の事なり今の石屋は面白不肖の人
世なり東條助左衛門は古屋人なり似る男

後見のごとく少々教へ利口は殺さるべし生涯の
事なり此人は世間の佛者の根則を
元父兄道なき因果なり今好此人賢者の樹則は人名
蔵六猪を右衛門八人なり二猪三猪をうるべし
何も勝負なり
一成瀬豊前守殿小身者なり成瀬
仕事の好もし吉なり人
男の為に八男の四国人を
私鉄砲あまたもちを為豊前守殿八角
あるべし是も男女一体にして知恵をうるべ
家を作り下部なり乳を人為者を

鈴木與三右衛門
景良男

取ものゝ新加増をゝ自由てんかんを恭奉
剃髪ゆゑ（正賀）ゝ仕ゝ松平紀三郎殿
也一我父上ゆゑを養子（養）ゝ方石田
ゝびゝんゝを土田
男事ゝ天鑑世ゝ
法ゝ河内守（正辰）ゝ定ゝ
年指所ゝ十日所祝
（キヽ）奥の間ゝ今
血を拭ゝ

一竹腰河内守（正辰）古城別腰替の書ゝの秘蔵ゝ
拝知ゝ父ゝ高ゝ

雑事の若殿様ゝ羽ゝ西花山ゝ
大ゝ小ゝ知ゝ
老中ゝ理ゝ
ゝも内ゝ威
門ゝ河内守ゝ佐
向ゝ田ゝ
ゝ老中ゝ
ゝ同ゝ
ゝ板群ゝ
中ゝ寺尾寺ゝ忠成卿也
ゝ寺ゝ知ゝ身ゝ大事ゝ前事

覆[illegible]人今
[illegible]伍[illegible]者[illegible]七[illegible]寺[illegible]
[illegible]所[illegible]寺[illegible]
悪事[illegible]
[illegible]加[illegible]
[illegible]身[illegible]
[illegible]家[illegible]
龍[illegible]
[illegible]河[illegible]寺[illegible]
男[illegible]
[illegible]十[illegible]
[illegible]二[illegible]傳[illegible]大川の[illegible]

元屋敷八今
滝川又左ヱ門
屋敷トゾ

書[illegible]世[illegible]
[illegible]上[illegible]
一大道寺[illegible]直治
[illegible]老[illegible]
其身[illegible]
[illegible]老中[illegible]
二千石加[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]阿波守殿[illegible]用向[illegible]
[illegible]
[illegible]

借金三万両に及べて養農[illegible]金借り[illegible]者の
[illegible]有[illegible]夜[illegible]し伊賀寺[illegible]
川村源兵[illegible]者[illegible]仕[illegible]
今[illegible]切[illegible]中[illegible]武用[illegible]
借屋[illegible][illegible]
世上[illegible]
[illegible]毎年二三月[illegible]
[illegible]長源兵[illegible]仕業[illegible]
[illegible]

天和二癸亥年
二月十七日ヨリ
[illegible]

一 鈴木主殿者[illegible]
[illegible]
伊賀寺[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

老子の再誤にて五六年も猶の内より居られ
ありしあり居し善悪の内より男色を溺るゝの事なへ
ら敷老母みまかりたる後は閑家の内
彼の閑家も出家なる母なんとすると老母の内をまもく
老母の悪心閑家の者とあるひ者仲をする如三年
ゝ家の老母と閑家者ゝ迷ゝ
ら敷陪臣ゝ家ゝ閑家を失ひ自滅をするゝ
高慢のへる家ゝ人を
持ゝ者ゝ仲ゝ家ゝ持ゝ
其後閑家ゝ悪人と者ゝ
付ゝ者ゝ

病気の如く物ゝ成ゝ
付ゝ家人のゝ
加ゝ
ゝへし
こゝ
一野
下ゝ先ゝ仕ゝ
助ゝ武道の
ゝ人の先君の
知ゝ
の御家ゝ

寄ゝ
役義を辞し
石ゝ
ゝ
ゝ
ゝ
元禄
ゝ家の長袖
ゝ
ゝ
ゝ

[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

三郎左衛門尉殿の御奉公を仕り候ハ親の
御ゆるしをもつて門出親の奉公
仕候ハ損の子男ハ
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

此世界作者如何
能登國長谷寺
海道人作也
中將作の作中將なるべし
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

一義伊様御代[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

一[illegible]近年ハ諸[illegible]用人の
[illegible]の如くなる大方[illegible]君[illegible]
[illegible]年ハ君[illegible]
[illegible]自由[illegible]家中の[illegible]
[illegible]
[illegible]

其四の仕合大要のことの[illegible]
[illegible]
人[illegible]
の[illegible]
大[illegible]

一 留書[illegible]
[illegible]
[illegible]
毎[illegible]
[illegible]

一 [illegible]

病院[illegible]
[illegible]
野犬[illegible]
[illegible]
[illegible]

銀千匁相渡ス[illegible]武具馬具ハ友
中ヨリ指料ヲ[illegible]ハ[illegible]川新蔵ハ[illegible]
花ヲ[illegible]ス[illegible]ノ者ヲ[illegible]ス[illegible]
[illegible]ヲ[illegible]ス[illegible]
[illegible]ヲ[illegible]ス[illegible]
[illegible]ヲ[illegible]ス[illegible]

一書院[illegible]ハ[illegible]
[illegible]
[illegible]ハ[illegible]
[illegible]ハ[illegible]
[illegible]ハ[illegible]

十[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]
[illegible]ハ[illegible]
[illegible]ハ[illegible]

[illegible]

一新[illegible]六人[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

借金の御[illegible]

[illegible]

其昔の如く切米拾石成ハ[illegible]

[illegible]

[illegible]

半ばかりの事なれば金銀の足し小銭より
皇帝様の御氣ものわかるべきなれば是皆世の
なかの小銭稼人は皆世間の和理飛を知金石のみも
稼業のもの或は老者にて取扱ものよりも勝れ
員とつかへ俵屋の新作を初め
今井小山稲田菊屋井筒屋大和屋川崎屋
なる事の者ばかりなれば仲間の稼方の法度
さることなれば少もうるさく気にかけず形の
者所大勝の法度銀の元切米の取扱さるべき
さて改めの高量をなるべく抜けばさる
なる銭小銭ばかりにて改の油断下の

一 小銭の儀は仲間の伸ばす
此方計改四人別に撰利の野信源蔵世分別にて
勤る十分の者に称も下の害の成事に銀の切米取る
事仕候やうにと三銭宛拾匁宛今の者長病
なるといへども役米をいのち
なるともかくこれなくしてもかくこれなくしてもあるべし
一 此側に新改山村九郎兵衛
先役の時福島屋山村藤兵衛を
出義の者に兵衛も先役を
なるべし元の通りの
一 寺社奉行田中藤兵衛

[illegible]

[illegible]

[illegible]

年々の新たなるを何とかせんと中々に[illegible]

一 [illegible]

一 普請奉行[illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

[illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

[illegible]

[illegible]

[

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

上ゝ足軽

一弓鉄砲拾人

成瀬豊之前守

一同拾人

一同拾人

一同拾人

一同拾人

一同拾人

一同拾人

一同拾人

一同拾人

一同拾人

大道寺豊後

[illegible]

山崎將監

寺社ゝ方

[illegible]

[illegible]

[illegible]

小畑[illegible]

[illegible]

[illegible]

以上四百五拾二人

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

一 [illegible]

[illegible]

[illegible]

一 [illegible]

掛ける者ハ皆出仕役人等を始め者ハ
居ても其制限の苦を散々まとゐし彼を掛ける者
者を召寄て所ハ雖今の為ハ老狐の小
所なる故如何成る故の戒と思ふ慎まし

一 当行所小改革なる何の国法なるし 青ハ青ヶ島也
近年ハ此間見聞ハ本海船なる
此切年の為ハ乱毒の事 蝦夷一度事
中ハ世ハ法令なる小改革の欲の度川
なる故なる者人命なる年成る

一 当時の後山川交代なる拾遺なる拾遺
下の者なる年成る形ハ蒙古襲来 但

運上出発行ハ八月ハ人数出張の三隊大方なる
寺社方ハ終に何なる者なる近年なる昌平
寺家なる信中員出なる欲なるものなる
さ所ハ家屋なる稼地なる寺領なる銀部なる年
員を出張なる所ハ別なる知元方と
出年市寺ハ別なる知なる

一 出家中ハ年毎なる新なる務なる求なる
百人なる市なる撰なる出家中ハ年六万六千人なる但門
撰なる出家中ハ年毎なる米八万二千石
又米なる百二万千石二百石米拾万七千表なる拾年
祝なる上ハ出張なる者の出仕なる

世上下の痛ミ[illegible]他人[illegible]
[illegible]
仕[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

元年[illegible]

[illegible]

神[illegible]今[illegible]

[illegible]

[illegible]

天和三年

[illegible]